

平成26年度第2回 墨田区障害者施策推進協議会 議事要旨

日 時 平成26年11月19日(水) 午前10時から
場 所 122会議室(庁舎12階)

1 開 会

2 議 題

(1)「第4期墨田区障害者行動計画(後期)」(素案)の検討について

(2) 障害者福祉施策に関する情報提供

(平成26年11月4日 障害保健福祉関係主管課長会 会議資料から)

3 閉 会

(資 料)

計画素案資料

第4期墨田区障害者行動計画(後期)・墨田区障害福祉計画【第4期】(素案)(概要)

第4期墨田区障害者行動計画(後期)・墨田区障害福祉計画【第4期】(素案)

資料1 日中活動系サービスの現状と今後の卒後ニーズ

資料2 グループホームの入居意向

資料3 障害児・者の地域生活支援の推進のための多機能拠点構想

資料4 地域生活支援拠点等の整備について

資料5 計画相談支援・障害児相談支援の推進等について

墨田区障害者施策推進協議会委員

氏 名	所 属	出欠
平 埴 隆 一	墨田区障害者団体連合会	出席
浅 岡 ミサ子	〃	出席
荘 司 康 男	〃	出席
前 田 君 代	〃	出席
小 宮 隆 仁	〃	出席
三 浦 八重子	〃	出席
小久保 登美子	墨田区知的障害者相談員	出席
中 武 繁 明	墨田区身体障害者相談員	出席
小 林 敬 子	墨田区民生委員・児童委員協議会	出席
田 中 三 伊	墨田区社会福祉協議会	出席
森 川 政 男	(株)ハクワクリーニング商会代表取締役	欠席
林 恒 雄	墨田区議会議員	欠席
佐 藤 篤	〃	出席
と も 宣 子	〃	出席
は ら つとむ	〃	出席
井 上 ノエミ	〃	出席
あ べ きみこ	〃	出席
磯 部 淳 子	東京都立墨田特別支援学校長	出席
小 川 崇	特別支援学級設置中学校代表(本所中学校長)	出席
持 田 和 彦	墨田公共職業安定所 職業相談部長	出席
中 橋 猛	墨田区保健所所長	欠席

事務局出席者

大滝福祉保健部長

小板橋障害者福祉課長

池田厚生課長

岸川保健計画課長

1 開 会

事務局 ~ 挨拶 ~ 省略

福祉保健部長 ~ 挨拶 ~ 省略

2 議題

(田中会長) ~ 挨拶 ~ 省略

(1) 「第 4 期墨田区障害者行動計画 (後期)」(素案) の検討について

(小坂橋課長) 計画の説明 省略

前回の佐藤委員のご指摘内容である、東京都による特別支援学校の整備について、教育委員会事務局に確認したところ、都がすべての小・中学校に設置すると構想しているのは「特別支援教室」ということであった。特別支援教室というのは、特別の支援が必要な生徒がいる学校に教師が出向いていく形式の教育形態であり、平成 28 年度に向けて、教育委員会で整備について検討していくことになっている。特別支援学級の整備については、当該計画の事業番号 9 に掲載している。

(事務局) 資料 1 ~ 5 について説明

省略

(A 委員) 資料 2 のグループホームの入居意向について、資料 1 と同様に考察を入れたほうがよいと思う。グループホームの入居意向について、調査対象を日中活動系サービス利用者に限っているが、他の手帳取得者も考慮したほうがよい。事業として、考慮してほしい。入所希望者のアンケートは、現在の利用者に限ったものだが、他の調査も必要ではないか？

障害児について、通級している場合、教育支援員が週 1 回しか配置されていないので、改善してほしい。普通学級に通う障害児の支援はどう考えているか。確認して可能であれば計画に盛り込んでほしい。

家具転倒防止事業について、給付対象となる方に通知を出してほしい。

(小坂橋課長) グループホーム事業については、特に重度障害者の方を対象とした施設整備を想定しており、重度障害者の方はすでに施設に入所、通所されている方と見込まれるため、施設を調査することでおおよその要望は把握できていると考える。

障害児の件について、細かい点については確認させていただく。

家具転倒防止事業については、障害者福祉課の窓口、学校の保護者会等で周知をしている。また、辞退する方も多い。引き続き、周知はしていきたい。

(B 委員) 計画で「個別事業の展開」に災害時の避難所における障害者のサポート体制強化について、記述を加えてほしい。視覚障害の方と一般の方とのトラブルが取り上げられている。

(小坂橋課長) 当該計画に入れるか内容を検討したい。

(C 委員) 本協議会の議事録を区ホームページに掲載してほしい。議事録を動画にして手話で流してほしい。聴覚に関わる話題だけでもよいのでお願いしたい。

墨田区における特別支援学校等のろう者の通学者数についてはどのようになっているか。

区内の児童館で、ろう者のコミュニケーションはどのように支援等が図られているのか。

(小坂橋課長) 議事録を手話の動画にして、現在のホームページに掲載することは技術面で困難である。ろう者の通学者数、また、児童館におけるろう者に対する支援状況については確認したい。

(D 委員) 障害者差別解消法について、運用の基本方針が内閣府から示された。今後は、区役所側が合理的な配慮が必要とされているので、技術的に対応できないということはいえないのではないか。

先日、塩浜福祉プラザを視察したが、施設が広く作業所もゆったりしている。各種の障害福祉サービスを統合して施設を作れば、効率化が図れるのではないか。例えば、NPO法人のぞみでも、昨今確保が厳しくなっている看護師等も、各種サービスで共有が図れる。この点で、区の支援はないか？

(小坂橋課長) 障害者差別解消法について、丁寧な対応、配慮が必要と考えている。NPOのぞみの支援について、現状では具体的なものは示せない。グループホーム等の整備の支援はしていきたいと考えている。

(E委員) 概要版の2頁に掲載されている『共同生活援助(グループホーム)事業』について、グループホームの対象者をどう考えているのか。障害種別ごとに整備するのか、また全障害種別について、本計画が終了する平成32年度までに整備する見込みか。

(小坂橋課長) 身体障害者、知的障害者それぞれで検討していく。この事業を担える事業者がいるか等、地域自立支援協議会等で検討していきたいと考えている。

(大滝部長) 区では、事業者によるグループホーム設置の支援を予定しているため、適切な事業者などがいるようであれば推薦してほしい。

(F議員) 区ホームページで音声配信など先行してやるべきであろう。

発達障害児について、区役所での対応はどうなっているか。

資料3にある地域生活支援拠点について、グループホームの記述があり、整備していく際考慮する必要がある。

障害者基本法の改正の際に附帯決議が付されており、本計画に反映させることが必要。

(小坂橋課長) 区ホームページで音声読み上げをすることはできる。

発達障害児に係る庁内体制については、事業番号86で取り上げており、支援体制の強化を図っていく。

(C委員) 障害に対する理解について、小学校における教育はどうなっているか。

(D委員) 障害者団体連合会で、区役所の入庁2年目の職員に対して、障害特性の理解を深めるための車いす体験等の区職員に車いす等の使用などについて研修を実施した。事業番号107、108で、障害に対する啓発の充実を図っていく必要がある。

(小坂橋課長) 事業番号15により、学校教育における障害に対する理解促進について規定している。事業推進をしていきたい。

(小坂橋課長) 障害福祉計画【第4期】について 省略

(2)「第4期墨田区障害者行動計画(後期)」(素案)の検討について

(事務局) 省略

(3)その他

(G委員) 視覚障害者については、文書をゴシック体にしてもらえると見やすい。

(田中会長) 意見、質問がなければ、これで本日の議事を終了させていただく。

(小坂橋課長) それでは、閉会とさせていただきます。